WING
日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 552（17−01）
2025年 09月 18 日
Tel:03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

JLU第17期 2025年末闘争スタート

年末要求アンケートにご協力を

9 月 5 日、日本航空ユニオンは定期組合大会を開催し、第 17 期がスタートしました。まもなく 2025 年末闘争が始まります。JAL では 2 年連続で 5 桁のベアを引き出しましたが、物価上昇は収まらず、一時金が支給される 7 月・12 月以外の月では実質賃金のマイナスが続いています。また、働き方についても課題は山積しています。今必要な人財施策は何か、その声をアンケートで集めています。

年末のスケジュールと取り組み

9 月 8 日
アンケート開始

9 月 30 日
アンケート締切り

9 月 30 日
年末要求(案)作成

10 月 8 日
中央委員会
要求決定・提出

11 月 04 日
回答指定日

11.21
航空の山場

幅広く 声を集めます

「JAL グループ全社員アンケート」でなるべく多くの声を集めて要求作りに役立てます。今年も業績連動で年末の一時金は 2 ヵ月（または2.5 ヵ月）と示していますが、第1四半期から好調に始まり、お盆以降も高い利用率を維持しています。一昨年の 3 ヵ月の一時金は職場を大いに盛り上げました。一時金を再考させ、社員のモチベーションアップにつながる年末回答を目指します。

JLU

アンケートはこちらから

年末2.5ヵ月は過去の交渉の成果

2025 年度の年末一時金も「第 2 四半期決算時に連結 EBIT が 1,400 億円以上を見通せる場合は 2.5 ヵ月とする」と示されています。ANA は夏と年末は 2 ヵ月で固定されていますが、JAL は 2018 年まで私たちが「年末年始は金がかかる」「上期を見て期末の前倒しはできないのか」と訴えてきて、2019 年から 2.5 ヵ月になる条件が追加されました。その後コロナ禍で都度交渉の場面もあり 3 ヵ月を引き出したこともありましたが、今は元に戻っています。これを変える気はないのか夏の交渉でも聞いてみました。

業績連動のスキームはどうなのか？という意見は意識しつつ、25 年度はこれで。来年度以降についてはまた検討する課題。

コロナ前と今では物価が高騰しており、ベアだけでは生活を支えきれず、夏 2 ヵ月、年末が 2.5 ヵ月になったとしても十分とは言えません。職場では「最高益なのだから最高に一時金に」「ANA との格差解消を」という声が高まっています。そもそも今の仕組みも私たちの交渉で動いたものです。再び職場の力を集め、今年末から改善を実感できる年末一時金へと修正させていきましょう。

単身赴任制度がまた一歩前進

25 春闘の回答で「単身赴任補助の対象者が家族のもとに帰宅するための制度において、2025 年度中に別居特任航空券手配の利便性向上を図ります」とあり、夏闘でも「有言実行したい」と述べていました。

年末の交渉を前に、この回答が業連として示されました。詳細は 9 月 17 日発行の業連「国内単身赴任者の出張・帰宅に関わる規程の改定について」をご参照ください。会社としても課題を認識し、繁忙期でも安心して帰宅できるように、制度改善をまとめたものです。引き続き課題は残りますが、これも一歩前進と言えるでしょう。